

資 料 編

1. 用語集

用語	説明
AI	Artificial Intelligence：人工知能。推論、問題解決などの知的行動を行えるコンピューターの技術。
CT	Computed Tomography：コンピューター断層撮診断。X線を使って撮影した体内の断面を映像化し、病変などを検査する装置。
DMAT	Disaster Medical Assistance Teams：災害派遣医療チーム。災害急性期（発災後48時間以内）に活動を行える専門的な訓練を受けた医療従事者で構成される医療チーム。
DI（室）	Drug Information：薬に関する情報を収集・整理し、医療関係者や患者等に対し必要な情報を提供する業務を行うこと（行う部屋）。
ICT	Information and Communication Technology：情報通信技術。コンピューターと通信技術による情報をやり取りする技術。
ME機器	Medical Engineering：医用工学(ME)を応用して開発された機器。治療や診断に使用される医療機器の総称。
MRI	Magnetic Resonance Imaging：磁気共鳴画像診断。磁力と電磁波により体内の断層撮影を行う方法。また、その装置。磁場強度の単位がテスラ(T)で、数値が大きいほど詳細な検査が可能となる。
NST	Nutrition Support Team：栄養サポートチーム。患者に最適の栄養管理を提供するために、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士等で構成された医療チーム。
PPE	Personal Protective Equipment：個人用防護具。ガウン、マスク、フェイスシールド等の医療従事者の感染等を防止するもの。
QOL	Quality of Life：生活の質。患者が自分らしく納得できる環境におかれること。
SPD	Supply Processing & Distribution：診療材料や薬品等の購買管理・在庫管理・搬送管理・消費管理等を一元管理する物流管理システム。
アメニティ	療養環境や職場環境の快適性のこと。
イートイン（スペース）	買った食べ物を店内の客席で飲食すること（飲食する客席のあるスペース）。
一般病床	精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床以外の病床。主として急性期の患者が入院する病床。
医療圏	都道府県が医療計画において病床の整備を図るべき地域的単位として設定する圏域。主として外来診療において初期の診断・治療を担う一次医療圏、入院を要する一般的な医療需要に対応する二次医療圏、特殊な医療を担う三次医療圏（原則として都道府県単位）がある。
医療情報システム	電子カルテシステム等及びそれらのシステムと接続する院内各部門システムや各部署の接続機器の総称。
エネルギーセンター	電源・熱源等を集中管理する施設。

オストメイト	人工肛門保有者・人工膀胱保有者。
回復期	発症間もない病状の不安定な時期を過ぎて、身体機能の回復を図る時期。
化学療法	主に抗がん剤の投与によるがん治療投与する治療。
かかりつけ医	患者の体調や病歴を把握し、診療行為だけでなく健康の相談や症状等により専門医の紹介を行う医師。
看護体制	看護配置基準の1つ。入院患者と看護職員の比率により定められる基準。例 7：1看護体制、10：1看護体制等。
カンファレンスルーム	Conference Room：一般的には会議室の意味だが、医療機関では医師や看護師が患者の病状や治療方針などについて協議する会議室を指す。
救急搬送	救急車によって医療機関に搬送すること。救急搬送件数は消防による統計データ。軽症は入院を必要としないもの、中等症は3週間未満の入院を必要とするもの、重症は3週間以上の入院を必要とするもの。
急性期	病気の発症直後等の病状が安定しておらず、高度の医療設備や多くのスタッフによる医療行為や全身管理が必要な時期。
クール（透析）	治療の区切り・一定の期間（ドイツ語が語源）。
クラーク	医療事務作業補助者。
クリティカルパス	入院中の治療・検査・処置等を時間軸に沿ってまとめた治療計画書。
クリーンベンチ	チリや環境微生物の混入を避けながら作業を行う（無菌操作）ための装置。
クリーンルーム	空気中の微粒子を少なくした部屋（手術室）。0.5 μ mの粒子を基準とした1立法フィート中の粒子数を規定しており、クラス1000は1立法フィート中の粒子数が1000個未満の水準（一般的な手術室はクラス10000）を示す。
検体検査	患者から血液や尿などの検体を採取し、その成分を分析する検査。
高齢化率	65歳以上の人口の全人口に占める割合。
災害拠点病院	災害時に発生する傷病者等の受入れ及び搬出を行い、地域の医療機関への応急用資器材の貸出し機能を有するものとして都道府県が指定する病院。
細菌検査	検体検査の一つで、細菌による感染を受けた臓器の分泌液や血液などから感染症の原因となっている細菌を検出する検査。
作業療法	身体機能の回復のために歩行訓練や食事等の日常生活に必要な動作の訓練を行う治療法。
受療率	治療のために医療施設に入院あるいは通院、又は往診を受けた人口10万人あたりの患者数の比率。
ストレッチャー	担架に移動用の車輪がついて人を寝かせたまま移送することができる器具。
生理検査	心臓や脳などの生体器官から発生する電気信号などを分析する検査。心電図検査・呼吸機能検査・超音波検査など。

ダムウェーター	荷物運搬専用の小型エレベータ。
低侵襲	侵襲は生体を傷つけること。低侵襲は腹腔鏡下の手術やカテーテル術等の患者（の生体）の負担が少ない医療行為。
デイルーム	談話室。
電子カルテ	医師が診療の経過を記入していた紙カルテを電子的なシステムに置き換え、電子情報として一括してカルテを編集・管理し、データベースに記録するシステム。
トリアージ	傷病者の緊急度に応じて、搬送や治療の優先順位を決めること。
内視鏡	体内を観察または体内から組織サンプルを採取するために先端にカメラを備えた細長い形状の医療機器。
病児保育 病後児保育	病児保育は病気の子どもの世話をすること。 病後児保育は病気が治っている回復期の子どもの世話をすること。
病床利用率	ベッドの利用の程度を示す指標。 病床利用率(%)=入院患者延数÷許可病床延数×100。
平均在院日数	患者が入院してから退院するまでの日数を一定の期間で平均したもの。
ベッドサイドリハビリテーション	ベッドから起き上がれない患者に対して、病棟内で実施するリハビリテーション。
ベッドコントロール	病床を効率的に運営するために、入院する病床を決め、退院調整までを一貫して管理する手法。
ベッドパンウォッシャー	便・尿が入った汚物容器を洗浄・消毒する装置。
マンモグラフィー	Mammography ; 乳癌の早期発見のために人の乳房をX線撮影する手法、またそのための乳房X線撮影装置。
无影灯	手術室等で用いられる影が生じない照明器具。
ライフサイクルコスト	病院を建築してから使用中の維持管理、最終的な解体までに要する費用の総額。
理学療法	基本的動作能力の回復等を目的として運動、温熱、電気、水、光線などの物理的手段を用いて行われる治療法。
リネン（庫）	タオル等の布製品（の保管倉庫）
療養病床	精神病床、感染症病床、結核病床以外の病床で、主に長期にわたり療養を必要とする患者が入院する病床。

2. 多久・小城地区新公立病院建設 基本構想・基本計画 検討委員会

新公立病院の基本構想・基本計画策定のための検討委員会を設置した。検討委員、委員会開催状況は次のとおりである。

(1) 検討委員名簿

池田 秀夫	◎	佐賀県医師会
吉原 正博		佐賀県地域医療構想調整会議中部構想区域分科会会長
島内 義弘		小城市医師会
池田 英雄		多久市医師会
末岡 榮三朗	○	佐賀大学医学部長
山下 秀一		佐賀大学医学部附属病院長
野田 広		佐賀県健康福祉部医療統括監
大島 克己		多久市民（市嘱託員会推薦）
木下 隆和		小城市民（区長連絡協議会推薦）
横尾 俊彦		多久市長
江里口 秀次		小城市長
後藤 祐大		多久市立病院長
田淵 和雄		小城市病院事業管理者

（敬称略。順不同） ◎委員長 ○副委員長

(2) 開催状況

開催日程等	議 題
第1回委員会 令和2年6月9日 於 小城市役所会議室	<ul style="list-style-type: none"> 委員長の互選及び副委員長の指名 スケジュールについて 基本構想（素案）について
第2回委員会 令和2年8月3日 於 小城市保健福祉センター ゆめりあ会議室	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想（案）について 基本計画（素案）について
第3回委員会 令和2年11月16日 於 小城市役所会議室	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画（案）について
第4回委員会 令和3年2月3日 於 小城市役所委員会室	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画（案）について パブリックコメントの結果